

# 「地域部活動」（玉名モデル）がめざすもの

玉名市教育委員会

## 1 より良い人間関係の構築や自己肯定感の高揚を図る「地域部活動」をめざします。

異年齢間交流の中で、礼儀やマナー面の向上など相手を尊重する態度等の育成により、子ども同士や子どもと指導者等との好ましい人間関係の構築を図ります。また、目標達成に向け最後までやり抜く力を育成するとともに、自己肯定感、責任感、連帯感を涵養します。

## 2 適切な運営による、合理的かつ効率的・効果的な「地域部活動」をめざします。

玉名市では、スポーツ庁・文化庁が策定した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に則り、令和5年4月に「中学校における部活動の指針」を策定しました。

これを踏まえ、これまでの学校部活動の意義を継承した「『地域部活動』（玉名モデル）実施要項」を策定し、適切で計画的な運営・管理体制を整えます。

## 3 生徒のレベルに応じ、誰もが満足できる「地域部活動」をめざします。

多様化する生徒のニーズに対応し、学校部活動と休日の地域部活動の連携を図り、大会やコンクール等で上位成績を望む生徒中心の活動だけでなく、競技志向ではない生徒もそれぞれのレベルに応じて満足できる活動を目指し、生涯にわたってスポーツ、文化芸術活動に親しむ生徒を育成します。

## 4 プレーヤーズセンタード※の精神で、子どもものやる気を支援する「地域部活動」をめざします。

指導者は常に指導技術の向上を目指し、研修会等に積極的に参加するなど、自己のスキルアップに努めることはもとより、プレーヤーを中心にしながら、子供たちが身体的や精神的に痛みを受けることなく、生き生きと意欲をもって「地域部活動」に取り組めるよう、体罰や暴言、ハラスメント等の発生防止に取り組みます。

## 5 徹底した事故防止・不祥事防止による、安心・安全な「地域部活動」をめざします。

活動における事故の未然防止について、日ごろから安全管理及び安全指導に取り組むとともに、万が一事故が発生した場合には、迅速で組織的な緊急対応ができる体制を整えます。また、不祥事を絶対に起こさないよう部活動指導に関する意識の向上を図ります。

---

※プレーヤー本人がコーチをはじめとする多くの人とのネットワークのセンターにいて、その中で互いが関わりあって成長していくという考え方。プレーヤーズファーストのように順番をつける考え方ではなく、また従来の師弟関係のように上下を作ることもしない、フラットで双方向な関係性を重視するもの。